

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		消防総務課
	03	05	01	04	01	

政策
消防職団員の適正な確保・育成や消防施設の充実強化

政策の内容

消防職団員の適正な確保・育成のため、消防職員の採用及び消防団への入団を促進するとともに、必要な技術・知識の習得により市民の多様なニーズに応えられる消防職団員の育成を推進します。
市民に迅速・公平な消防サービスの提供を図るため、必要な消防施設の充実強化を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

消防職員の採用募集は、広報はままつ、ホームページ、Instagramを活用して広報しており、現在は適正な採用倍率を確保している。
消防団員の確保については、教育機関への訪問、SNSの活用、メディアを通じた学生広報隊訓練のPRなど、多様な手段を用いて消防団の加入促進広報を行っており、効果が見え始めている。しかし、依然として条例定数に満たない状況である。
今後、人口減少社会の進行により消防職員団員の確保が難しくなることが推測されるため、これまでの広報活動に加え、デジタルマーケティングの手法を活用し、リアルとデジタルを融合した広報を実施する必要がある。
また、大規模地震や激甚化・頻発化する近年の風水害等に対応するため、通常の訓練に加えて、あらゆる災害に対応できるよう、高度な技術を習得するための訓練や消防DXを推進する必要がある。
さらに、引き続き市民への迅速・公平な消防サービスを提供するため、地域の実情を考慮した消防施設の充実・強化が必要である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,488,304				
決算	1,253,905				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	24.0				
会計年度任用職員	7.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
消防企画・人材 育成事業	消防職員の人材育成の一環として、研修及び派遣を行い、市民の生命、身体、財産を災害から防除するための知識及び技術の向上を図る。	25,265
		25,607
消防職員被服整 備事業	災害活動上の安全の確保及び機動性を向上できる被服の充実を図る。	68,590
		70,224
消防音楽隊等広 報事業	消防音楽隊等による消防に関する広報活動を行うことにより、多くの市民に消防行政に対する理解と信頼を得て、安全・安心な地域社会を実現する。	3,829
		3,346
消防庁舎運営維 持管理事業	災害発生時の防災拠点として、また市民が利用しやすい庁舎とするため、消防庁舎を適切に運営維持管理し、その機能維持を図る。	208,577
		186,727
消防庁舎整備事 業	消防庁舎の老朽化等に対応するため、建物及び付属設備の改修・更新を計画的に行うことで、災害時拠点施設としての機能を維持し、災害に対する即応体制を確保する。	165,992
		61,357
中消防署高台出 張所建設事業	老朽化する中消防署高台出張所を移転建設する。	456,493
		453,307
南消防署・浜松 第41分団等複 合施設建設事業	南消防署・浜松第41分団・可美市民サービスセンター複合施設を建設する。	71,114
		62,349
北消防署引佐出 張所・引佐第3分 団伊平建設事業	土砂災害計画区域内にある北消防署引佐出張所及び引佐第3分団伊平の移転建設する。	25,000
		23,368
消防総務運営経 費	国、県及び全国消防長会等で主催する会議、研修会への出席を通じ、最新の消防情勢や消防諸課題への取り組みなど、幅広い分野で有益な情報を本市へ還元し、消防行政の円滑な推進を図る。	10,684
		7,805
消防団員出動等 活動事業	消防団員及び職員の知識・実務向上のため研修等へ派遣する。	1,359
		1,129

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
消防団運営管理 等交付事業(交 付金)	消防団の円滑な運営を図るため、消防団の運営に要する経費を交付し、地域における消防団に対 する要求に柔軟に対応する。	67,301
		65,617
消防団員被服整 備事業	消防団員の安全な活動環境の保全のため、活動上必要な被服及び付属品等を貸与し、消防団員 が安心して職務に専念できるようにする。	58,345
		58,340
出初式開催事業	新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災につ いての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙る。	1,934
		1,603
消防団施設維持 管理事業	消防団施設を適正に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を維持する。	4,167
		4,106
消防団庁舎整備 事業	消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に点検や修繕、施設の統廃合を行 い、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。	14,260
		14,180
消防団資機材整 備事業	地域における消防防災力の充実と強化のため、各種災害に対応できる消防団活動上必要な資機 材等を整備し、消防団の災害対応力の向上を図る。	25,861
		16,448
消防団員退職報 償金支給事業	退職する消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。	57,716
		42,788
消防団員等賞 じゅつ金等支給 事業	消防団員の処遇の保全のため、災害現場において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金 及び休業補償支給者のうち7日以上休業した者に休業見舞金を支払い、消防団員が職務に専念で きるよう補償を充実させる。	670
		0
消防団員等公務 災害補償等共済 事業(負担金)	消防団員の処遇の保全のため、消防団員の公務災害等に係る共済基金等へ加入し、消防団員が 職務に専念できるよう補償を充実させる。	70,125
		70,124
消防団運営経費	継続的な消防団運営体制の確保のため、女性や若者に対する加入促進事業を推進し、消防団員 を確保する。	11,654
		7,581

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
消防団車両維持 管理事業	災害発生時の即時対応に支障の無いよう、消防団車両を適切に維持管理し、緊急自動車としての機能維持を図る。	22,160
		20,745
消防団車両購入 事業	消防団車両の老朽化等に対応するため、更新計画により消防団車両の更新を適切に行うことで、災害に対する即応体制を確保する。	115,085
		56,825
消防団無線事業	消防団の災害活動用無線機等の維持管理に要する経費 ・消防団無線の維持管理を行う。 ・消防団車両の更新に伴う無線乗せ替え等を行う。	2,123
		329

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
浜松市消防局人材育成基本方針に基づく研修後の職員アンケート回答数(人)	研修後に実施するアンケートの回答数	あらゆる災害に対応するために必要となる最新の知識やスキル等の研修を行うことで、安全かつ的確に行動する職員を育成するため。	目標値	－	254	254	254	254	254
			実績値	190	221				
			達成率	－	87%				
消防職員のエンゲージメント(5段階評価)	職員のエンゲージメント調査項目(誇り、やりがい等)において、5段階評価の平均	職員のエンゲージメントを把握することで、誰もが「誇り」や「やりがい」のある職場環境を整備することにつなげるため。	目標値	－	5	5	5	5	5
			実績値	4.15	4.14				
			達成率	－	83%				
消防庁舎建設の進捗(%)	現在進行している建設事業における当該年度末時点での工事進捗率	災害発生時の防災拠点施設として、消防庁舎建設の進行状況を客観的に把握し、計画通りに事業が進んでいるかを評価する。	目標値	－	53	73	87	100	100
			実績値	33	53				
			達成率	－	100%				
消防団員加入促進広報実施人数(人)	年度間に直接市民に対して、消防団員加入促進広報を実施した人数	地域防災の要である消防団員を確保するために、消防団活動の認知拡大と「やりがい」や「魅力」を広く伝えるため。	目標値	－	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
			実績値	4,018	5,028				
			達成率	－	132%				
消防団拠点施設劣化調査実施数(回)	年度間に劣化状況調査を実施した施設数 ※消防団拠点施設劣化調査は、浜松市消防団施設等総合管理計画に基づき2025年度から実施する。	30年以上経過した消防団施設の長寿命化を図るため。 (対象:43施設 R34まで)	目標値	－	5	5	5	5	5
			実績値	－	5				
			達成率	－	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
研修目的の達成度(職員の研修理解度・業務活用度)(%)	浜松市消防職員人材育成基本方針に基づく研修後のアンケート結果における「業務に活用できる」と回答した割合	研修目的の達成度を把握し、研修内容をブラッシュアップするとともに研修結果を効果的に消防業務全般に反映させる必要があるため。	目標値	－	100	100	100	100	100
			実績値	98.9	99.5				
			達成率	－	100%				
消防職員採用の倍率(倍)	年度内に行われた消防職員採用試験の平均倍率	消防の使命を自覚し、市民の安全・安心を守るため、誠実かつ積極的に業務遂行できる人材を確保するには、一定数以上の受験者数を確保する必要があるため。	目標値	－	10	10	10	10	10
			実績値	15.4	8.5				
			達成率	－	85%				
消防庁舎の立地や利便性満足度(5段階評価)	消防庁舎の立地や利便性等に対するアンケートの満足度(5段階評価の平均値) ※消防庁舎の立地や利便性満足度調査は2025年度から実施する。	地域の防災拠点となる消防庁舎の立地や利便性向上を、市民の視点から直接評価するため。	目標値	5	5	5	5	5	5
			実績値	－	3.4				
			達成率	－	68%				
条例定数に対する消防団員数(充足率)(%)	4月1日現在における条例定数に対する消防団員数の割合(充足率)	地域防災の要である消防団員を確保し充足率を上げる具体的な目標指標とするため。 (本年度実績値3%/年基準)	目標値	－	78.1	80.4	82.7	85	87.3
			実績値	75.8	78.2				
			達成率	－	100%				
消防団拠点施設の保全率(%)	劣化状況調査結果及び修繕実施により、消防団拠点施設が適正に保全されている割合 ※消防団拠点施設の保全は、浜松市消防団施設等総合管理計画に基づき2025年度から実施する。	地域防災の要である消防団の拠点施設を適正に維持管理することは地域防災をを守ることにつながるため。	目標値	－	100	100	100	100	100
			実績値	－	100				
			達成率	－	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
火災による死者数(放火自殺者を除く)(人)	○	1年間の市内における火災による死者数(放火自殺者を除く) ※死者数8人(2023年度)を0人にする。	実績値	5	7					0
			達成率	38%	13%					
救急現場における市民による応急手当実施率(%)	○	1年間に市内において、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	実績値	51	55					60
			達成率	84%	92%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも、市民の安全・安心を守っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
消防企画・人材育成事業	・研修実施計画に基づき、消防総務課として教育研修を9回実施した。また、研修・教育体制等の充実を図るため、「浜松市消防職員人材育成基本方針」の改定に向けた検討を行った。	・2026年度に「浜松市消防職員人材育成基本方針」を改定し、人材の確保、育成をさらに充実させる予定である。
消防職員被服整備事業	・気象変動や冬季の寒冷化から隊員を保護するため、消防活動用の雨衣及び防寒着の性能強化を行った。(新雨衣243着、新防寒着473着を貸与)	・実現場での着用感をアンケート等で分析し、次回の更新サイクルにおける基礎データとして蓄積する。
消防音楽隊等広報事業	・派遣演奏:40回・集客数:258,688人:防火防災講座、市主催のイベント、第29回定期演奏家等を活用して市民等に、消防広報(防火・防災・救急)を実施して消防広報を展開した。	・結果アンケートを行い、「消防広報の分かりやすさ」「演奏や広報内容」について意見を求め、浜松市消防音楽隊事業計画を策定し、事業目的の達成及び指標の改善に向け取り組んでいく。
消防庁舎運営維持管理事業	・経年劣化への早期修繕により災害対応機能と生活環境を維持した。飲料水質検査・浄化槽点検・廃棄物処理により法令遵守と衛生管理を確保し、空調・設備保守を定期実施することで施設機能の維持を行った。	・実績を踏まえ、今後は中長期的な視点でのコスト管理を推進する。
消防庁舎整備事業	・消防庁舎の機能性と安全性の向上を目的に、オーバースライダーの整備及び防犯カメラの設置を計画的に実施した。(3施設)	・整備実績による災害出動時の迅速性や防犯上のメリット等を検証し、結果を後継事業に反映する。
中消防署高台出張所建設事業	・計画どおり建設工事のほか、電気工事及び機械工事等を実施した。	・道路改良工事等を実施し、2026年4月の開所及び運用開始に向けて進める。
南消防署・浜松第41分団等複合施設建設事業	・南消防署の新築移転に向け、建物の安全性、環境性能、周辺環境との調和を担保するための基本設計を具現化し、各種調査を計画どおり実施した。	・各調査結果を実施設計にフィードバックしたことで、着工後のリスク低減を図った。今後は、建築・電気・機械等の本体工事に着工し、計画的な事業推進を行う。
北消防署引佐出張所・引佐第3分団伊平建設事業	・新庁舎の建設用地確保に向け、運動広場施設の解体・更地化を完了したほか、アプローチ道路を拡張することで、本体工事の準備体制を整え、とともに、災害出動時における消防車両の迅速かつ安全な走行空間を確保した。	・異なる目的の工事を同時並行で進めることで事務効率を図った。今後は、建築・電気・機械等の本体工事に着工し、計画的な事業推進を行う。
消防総務運営経費	・全国消防長会へ加入し、会議・研修等を通じて消防に関する最先端の動向や各種分野に関する全国の取組状況を把握するとともに円滑な情報収集等を行うことができ、当局の取組みに活用して、諸課題解決を行った。	・知識及び技術の向上、研修や全国的な大会等への出場に向けた人材育成の機会の創出や消防職員の業務における功労を表彰という形で還元させ、業務への意欲、モチベーションの維持、向上を図っていく。
消防団員出動等活動事業	・静岡県消防学校へ計26人を派遣し、知識・実務の向上を行った。	・多様な災害に対応するため、消火活動に加え専門的な知識や技術が求められるため、引き続き研修等へ派遣する。
消防団運営管理等交付事業(交付金)	・消防団本部、(1本部)、ラッパ隊(1隊)、各支団(7支団)、分団(72分団)に交付金を分配し、柔軟かつ効果的な運営を行った。	・円滑な運営を維持するため、引き続き交付する。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
消防団員被服整備事業	・防火衣(456着)及び活動服(222着)を購入し、団員に配布した。	・必要数を調査し、引き続き団員に配布する。
出初式開催事業	・車両展示や消防広報活動を実施し、5,000人を集客した。 式典では優秀な分団等に表彰を行い士気高揚を図った。	・多くの市民に消防広報を行える。 消防職団員士気高揚を図れることから引き続き実施していく。
消防団施設維持管理事業	・消防団施設の劣化調査を行い、5施設の修繕を行った。	・施設管理状況を確認し、適切な維持管理を行う。
消防団庁舎整備事業	・劣化調査を行い、19施設の修繕を行った。 また、使用されていない車庫6棟の撤去を行った。	・劣化調査を継続し、庁舎の損耗度の把握に努める。また、天竜第8分団庁舎の方針の決定、天竜第4分団庁舎の方向性を検討する。
消防団資機材整備事業	・消防用ホース102本、ポータブルトイレ80式を各分団に配備した。	・必要な資機材を配備するとともに、新たに、活動上効果的な資機材整備を検討していく。
消防団員退職報償金支給事業	・退職された消防団員114人に報奨金を支給した。	・条例に基づき、適切に退職報奨金を支給していく。
消防団員等賞じゅつ金等支給事業	・遺族補償年金(3人)、休業補償費(2人)の補償を行った。	・引き続き補償していく。
消防団員等公務災害補償等共済事業(負担金)	・法令等に基づき、基金等へ加入した。	・法令等に基づき、基金等へ引き続き加入する。
消防団運営経費	・大型ショッピングセンターや大学等の学園祭において広報活動を実施したことにより、学生を中心に249人が入団した。	・SNSやデジタルサイネージを活用したデジタル広報を積極的に行うとともに、地元と連携し、広報活動を強化していく。
消防団車両維持管理事業	・消防団車両145台の点検や修繕を行い、適切な維持管理を行った。	・管理状況を確認し、引き続き適切な維持管理を行う。
消防団車両購入事業	・計画に基づき購入した。(7台契約、2台納車、2026年度に5台納車予定)	・更新計画に基づき、地域実情や多種多様な災害に応じることができる効果的な車両を引き続き配備していく。 納車までの期間が不安定であるため、メーカーと十分な調整を行う。
消防団無線事業	・保守点検や修繕、更新車両への載せ替えを行い、適切な維持管理を行った。	・引き続き適切な維持管理を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(浜松市消防局人材育成基本方針に基づく研修後の職員アンケート回答数) ・研修の企画において、研修の参加者ではなく、研修参加者全体の回収率を重視することで、より消防ニーズに合致した研修を企画することができることから指標名称及び文言を修正した。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(消防職員採用の倍率) ・2025年度は、採用試験区分ごとの倍率の平均により算出していたが、区分ごとの採用予定者数の多少によって平均倍率が変化してしまっていた。よって、2026年度からは、全体の「申込者数を採用予定者で除した倍率」とし、区分ごとの影響を受けにくい算出方法とするため、指標の置換を行う。 (条例定数に対する消防団員数(充足率)) ・消防団員加入促進事業等の効果により、当初設定した目標値の2.3%/年から、3%/年の団員加入を見込めると判断したため上方修正する。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・2025年度は、研修実施計画に基づき、計画どおり各種研修を実施し、職員の研修理解度・業務活用度が上昇した。また、研修・教育体制等の充実を図るため、「浜松市消防職員人材育成基本方針」の改定に向けた検討を行った。 2026年度には、検討を図ってきた「浜松市消防職員人材育成基本方針」を改定し、さらに充実した研修・教育体制等を構築していく予定である。 ・消防広報は、職員一人ひとりが消防資源を活用して市民に対して消防広報を拡充した。 2026年度は、上記に加え広報主任者を中心に広報計画に従い、更なる消防広報を展開していく。 ・2025年度は消防庁舎建設が計画どおり53%達成するなど事業進捗は堅調である一方で、市民満足度が3.4(目標値5.0)にとどまり、立地・利便性のニーズと実施内容に1.6ポイントのギャップが生じている。事業の進捗のみならず、市民の利便性や満足感という価値向上を実現することが必要である。 2026年度以降は、この課題解決に向け、改めて満足度調査により不満要因を具体的に特定し、その原因を分析する。次に、特定された不満要因に対して、新庁舎整備事業の設計への反映や既存庁舎の改修により、実質的な改善を図る。その上で満足度の追跡調査を実施し、実施した取組みが市民満足度の向上に直結しているか定量的に検証する。このPDCAサイクルの形成により、事業進捗の維持と市民満足度の向上を両立させる。 ・消防団員数について、若年層をターゲットとした広報活動を行ったことにより、学生を中心として増加した。しかし条例定数との間には依然として、乖離がある。 2026年度は、SNSやデジタルサイネージを活用したデジタル広報を積極的に行うとともに、地元企業、高校、幼稚園、プロスポーツチーム等と連携し、広報活動を強化していく。 ・消防団庁舎について、計画に基づき劣化調査、修繕を行った。 2026年度以降は計画を見直し、引き続き劣化調査、修繕を行うとともに、天竜第8分団庁舎の改修内容を精査し、新築を含め方針を決定していく。天竜第4分団庁舎の改修等の方向性を検討していく。	
--	--